

揖斐農林事務所の普及活動状況 令和3年6月25日現在

今月の重点活動

■茶 スマート農業実演会の開催

6月24日に（農）美濃いび茶宮地生産組合のほ場において、「コンテナ式乗用型摘採機＋トラックコンテナ」のスマート農業技術実演会が開催された。

コンテナ式乗用型摘採機は、従来の袋取り方式の乗用摘採機と比べ、茶袋の取り換え作業がなくなり、摘採時間の大幅な短縮が可能となる。

組合員は組合の未来を担うスマート農業技術を熱心に観察し、活発な意見交換を行った。農業普及課からは、先月行われた実証結果とその効果について情報提供を行った。



【スマート農業技術実演会の様子】

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■揖斐郡3町、JA、農業共済との連携 「営農連絡会議」を開催

6月7日に第2回営農連絡会議を実施した。例年は年2回の営農連絡会議であったが、現地の課題や担い手育成、収入保険の推進等について、関係機関で情報共有を密にし、推進することとして、隔月で実施する。

4月に共有した各機関の計画に基づき、現在の進捗状況を話し合った。互いに把握していない情報も共有することができ、今後の活動について、有意義な情報を得ることができた。



【会議の様子】

■夏秋なす ～第2回帰農塾開催～

夏秋なす栽培は、露地で栽培ができ導入経費が比較的少ないこと、地域に選果場があり収穫後の手間がかからないことなどから、比較的取り組みやすい作物として地域の推進品目となっている。6月12日に、いび川夏秋なす生産組合、揖斐農林事務所、JAいび川共催で「第2回夏秋なす帰農塾」を開催した。新たになすを栽培したいとする受講生10人に加え、なす部会員6名の参加があった。

農業普及課からは、誘引・剪定作業及び病虫害防除について講義を行った。その後現地ほ場において、なす部会員指導の下、葉かきや誘引作業の指導を行った。

これらの取り組みを通して、新規栽培者の確保と生産者の単収向上を目指し、産地の拡大へつなげていく。



【現地研修の様子】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■アスパラガス JAいび川との巡回指導実施

6月1日に、管内の主要なアスパラガス栽培農家の巡回指導を実施した。揖斐では、50a程度のアスパラガスが栽培されており、ほとんどが雨よけ栽培で栽培されているが、一部に簡易雨よけハウスでの栽培もおこなわれている。

また、昨年新しく定植されたハウスでは、高畝式の栽培を開始しており、出荷が始まったところである。

6月からは、ほとんどの生産者が立茎中となっており、夏芽の収穫に向けて、整枝や病害虫防除など管理の徹底を支援した。



【アスパラガス高畝栽培】

地域資源を活かした農村づくり

■農業婦人クラブ 農業婦人クラブ理事会が開催される

6月16日に、揖斐地域内の農業婦人クラブ役員7名が集まり令和3年度の事業計画等について話し合いが行われた。

毎年冬に実施している農村女性の集いについて、今年も実施を予定し研修会の内容について検討された。今年は女性部で唐辛子を苗から栽培しており、収穫した唐辛子をワラで編んでリースを作成することが計画された。

令和3年度は、7グループ48名の会員でスタートし、後継者育成も視野に入れて活発に活動していく。



【理事会の様子】

中山間地域を守り育てる対策

■揖斐地域特産農産物 振興チーム会議の実施

6月22日に揖斐川町、JA、農業者等を集めて、本年度の地域特産農産物の振興状況と今後のスケジュールについてチーム会議を実施した。3月に実施したチーム会議後、品目ごと（とうがらし、金ごま、沢アザミ、わさび他）に担当者が活動を進めており、情報を持ち寄り、課題について検討を行った。

現在、とうがらしは6月末までに苗の定植、金ごまはは種、沢アザミは7月まで順次出荷、わさびは導入苗の生産管理が行われている。今後の活動方法について関係者の役割分担等を確認した。



【チーム会議の様子】